

## デロイト トーマツ コンサルティング インターンシップ体験記

会計研究科1年 森高 盾



私は、この夏にデロイト トーマツ コンサルティング（以下DTC）に、会計研のメンバー三人でインターンシップに参加させていただきました。今回は学内の広告から締め切りの期間が三日ほどしかなく、悩む暇も無く応募しました。準備期間はあまりありませんでしたが、書いた志望書を会計研の友達の三人に無理を言って添削してもらったり、面識のない会計研のDTCに内定をもらっている先輩に急にメールをしてDTCのことを教えてもらうなどして、運良くインターンに参加できました。

選考は、まず大学院の教授と面談し、その後二回ほど東京にあるDTCの事務所でスタッフの方と面接を行うというものでした。DTCでの二回目の面接では課題を与えられそれについて議論するものであり、矛盾点をかなり突っ込まれしよげて帰りました（笑）本番のインターンシップの前から大丈夫だろうかと少し不安にもなりましたが、いざ始めてみると二週間という期間がこんなにも短くかつ濃密なものかと思はばかりです。

インターンシップは、院生も含め18人参加しており、3人で1チームの計6チームで、与えられた課題に対し、担当コンサルタントの方と議論しながら最終報告で提言するというものでした。僕たちは会計研チームとして参加し、「各産業における資源配分政策の成功要因は何か」ということについて発表しました。泣き言ではないですが、明らかにやりにくいテーマでした。隣の芝は青く見えると言いますが、他のチームの「電通の海外進出政策について」、「ソニーがDSを超えるためには」の方が明らかに面白そうに見えました（苦笑）

しかしながら、そんなことも言っていられないので、会計研チームとして有価証券報告書を読み漁りながら（文字通り各社の有報を読み漁りました）、チームで議論をし、コンサルタントの方にダメだしをされ、時にはテーマを呪い、出口が見えない中で思考錯誤し、安易に本に書いていることを引用し、またダメだしされ・・・とにかくもがき続けた2週間でした。しかし、そういう試行錯誤をしているうちに、だんだんとロジカルな思考が出来てきていたと思います。コンサルタントの方が、喰いつくポイントがわかってくるというか（笑）。

ここまで書いた感じですとインターンシップは、厳しいという印象かもしれませんが、全体的に本当に楽しかったです。DTCのスタッフの方は穏やかで明るい方ばかりで、参加している学生もコンサルタント志望の学生だけあって、みんな明るく社交的でした。ですから、暗いなんて言葉はどこにもなく、かといって和気あいあいでもないですが、みんな明るく熱く真剣にそれぞれの課題に取り組んでいました。その中でも、会計の知識があるということは本当に大きな武器だなということも実感しました。会計の知識のおかげで、会計面では、コンサルタントの方や他の学生とも対等に議論できたと思います。また、僕のチームメイトが他のチームに財務分析の方法をレクチャーするなど、知識の足りないところはお互いのチームで補うという雰囲気でした。ちなみにレクチャーしている時の彼は、こっちのチームにいるどんなときよりも楽しそうでした。そんなこんなで大変ではありましたが、丸ビルでのランチに連れて行ってもらったり、他大学の学生とも仲良くなったり、色々な議論をしたり、今回のインターンシップを中心に担当して下さった人事の方とも交流を深めるなど楽しい思い出もたくさんありました。

今回のインターンシップは辛いと思うこともあり、funなことばかりではなかったですが、excitingでinterestingなことばかりで本当に楽しかったです。選考段階から最後に至るまで、会計研の方から始まり、他大学の学生、DTCの方々に至るまで本当にたくさんの人と知り合いになりました。インターンシップに参加することを通じて、自分の財産が増えた気がしています。最後になりましたが、今回のインターンシップを支えて下さった、志望書を添削してくれた友達、DTCの良さを教えてくれた先輩、会計研の事務所の方、面談をして下さった清水教授、そしてDTCの関係者の方々各位にこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

## インターンシップを通じて

会計研究科1年 大原 亜貴

私がインターンシップに参加したのは、会計士試験の勉強を続けようか悩んでいたためです。もしインターンシップに参加して会計士という仕事に面白味を感じることができなかつたら、会計士試験の勉強は止めようという思いで参加しました。

インターンシップでは、主に業界分析・模擬監査・工場見学・若手公認会計士の話を聞くといった内容で、明治大学会計専門職大学院（以下、明治大学会計大学院）と合同で行われました。

業界分析は、初日から最終日にわたって行われました。外部情報から企業の現状や企業の属する業界の動向を把握し、その中で企業が抱えるリスクは何かということグループワークで分析しました。初めての業界分析は何から始めていいのかわからないうえ、初対面の方たちとのグループワークは非常に戸惑いました。しかし、徐々にグループ内でのコミュニケーションが取れるようになり、当該企業の工場見学をすることで企業に対するイメージが具体的に湧くようになりました。最終日のグループ内でのディスカッションやグループ毎の発表ではそれぞれが考えるリスクを聞くことができ、大変勉強になりました。どこにどのような視点を持つのが人によって異なっているのが非常に面白く、良い刺激を受けました。

二日目の模擬監査では、架空の企業を設定し、トーマツの方が経理部長・営業部長・主査といった役割で、グループ毎に監査法人として当該企業の財務諸表からリスクを発見していくというものでした。今までテキストでしか勉強したことなかった監査論を体験できるし、勉強の成果を試す機会でもあったので今回のインターンシップで一番楽しみにしていました。模擬監査を通して痛感したのは、監査では何よりコミュニケーション能力が重要であるということでした。会社の担当者の方とのコミュニケーションはもちろんのこと、監査チーム内でのコミュニケーションも円滑でないと、思ったように監査を進めることはできないのだと感じました。会社の方とのコミュニケーションがうまくいかないと、必要な資料を出し渋られたり、言い負かされそうになるということも、身をもって体験することができました。模擬監査でも最後はグループ毎に発表を行いました。発表する機会は4日間を通じて2回あったのですが、人前で自分の考えたことをわかりやすく説明するというのは難しいものだと思います。しかし、一方でうまく説明することができたときの喜びは格別で、普

9/25（金）11号館9階にて、ジョブフェアを開催。参加企業の採用担当の方には、全体会場での説明のほか、個別相談にもご対応いただき、有益な機会となりました。

### 【参加企業】

伊藤忠商事株式会社（IT企画部）  
UBS証券会社  
デロイトトーマツコンサルティング株式会社  
株式会社NTTデータ経営研究所  
アクセンチュア株式会社  
アビームコンサルティング株式会社

早稲田大学キャリアセンター（学生会館3階）  
<http://www.waseda.jp/career/index.html>



### ーキャリアイベントのお知らせー

International Organization's Career Seminar

#### 【Date & Time】

2009.10.28（Wed）  
12:20～14:20 40 min×3 sessions

#### 【Participation Organizations】

・OECD（Organization for Economic Co-operation and Development）  
・WB（World Bank）  
・IMF（International Monetary Fund）

#### 【Place】

Masaru Ibuka Auditorium  
英語によるセミナーになりますが、日本語での質問も受け付けます。

段なかなかできない貴重な体験ができました。

三日目の工場見学では、製鉄所というモノ作りの現場を見ることができちょっとした感動でした。工場見学の日は時間的に余裕があったので、実際に製鉄所に監査に行っている女性会計士の方からトーマツで女性はどんな風に働いているのか、トーマツで働く女性はどんなキャリアなのか、また結婚や出産・育児を経験後職場復帰できるのか、実際にした人はいるのかといったことを直接聞くことができました。また、長時間の行き帰りのバスで明治大学会計大学院の方たちとの交流を深めることができました。大学院生といってもいろんな背景をもって勉強に臨んでいて、自分とは異なる立場の方と話すのは発見することが多く、大変充実したものでした。

最終日には、若手公認会計士さんの話を聞き、実際に働いている人の生の声が聞けました。とてもフランクな会計士さんで、何でも質問に答えてくれ大変リラックスした雰囲気を作ってくれました。こんな会計士になりたいとも思いましたし、会計士という仕事の魅力を再確認することができました。

インターンシップというからには、当初硬いイメージをもって緊張していたのですが、トーマツのスタッフはどの方も話しかけやすく、リラックスできる雰囲気を常に作ってくれ、毎日インターンシップに行くことが楽しみでした。今振り返っても4日間はどの日も充実していて本当に楽しかったです。また、人材育成部の方を始めとするトーマツのスタッフが、会計士になることを非常に後押ししてくれたことがうれしかったし、心強かったです。最後にはトーマツのフレームにいれた集合写真やキャップをプレゼントしてくださりました。

そして4日間という短い期間ではありましたが、明治大学会計大学院の方々との交流とても楽しかったです。普段他の会計大学院の方と接する機会がないので新鮮でしたし、会計大学院ならではの悩みを分かち合うことができました。

インターンシップ最終日には、会計士試験に対するモチベーションが以前にも増し、将来はトーマツで働きたいという具体的な目標を持つことができました。今回インターンシップに参加できたことは、自分にとって大きな励みになりました。このような機会を設けてくださったトーマツのスタッフ、会計研究科のスタッフ、そしてともに参加した会計研究科1・2年生、明治大学会計大学院の方々から感謝いたします。

### 学位授与式

9月20日、9月の学位授与式がおこなわれ、会計研究科から2名の修了生が旅立ちました。活躍を期待しています。



### 卒業プロジェクトメンバー募集

学位授与式当日（2010年3月25日または3月26日）の謝恩会の企画・運営や、卒業アルバムの作成に携わっていただく卒業プロジェクトメンバーを募集します。

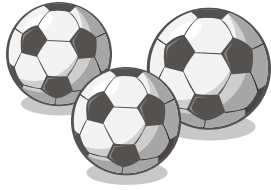
昨年度から、アカデミックガウンの公式着用が認められ、式典もより厳かなものとなりました。これも、卒業プロジェクトメンバーの働きかけによるものです。思い出深い修了のときを迎えるためにあなたの力を発揮してみませんか。

募集対象：各コースの

2010年3月修了予定者

学籍番号と氏名をaccounting-student@list.waseda.jpに送信してください。  
10月末頃に最初の打合せを予定しています。





## 会計研サッカー部 活動報告



会計研究科2年 丸岡一勝

9月20・21日に会計研サッカー部0B・在学生、戸山高校と一緒にサッカーをしているコンパニーエロスを中心とした愉快的仲間たちで第1回会計研サッカー部合宿を行いました。今回の合宿は以前から実施したいと話しており、コンパニーエロスの田代さん・会計研サッカー部創設者の満行さんや会計研0Bの小池さんの尽力により実現することができました。結論から申し上げますと、「楽しかった」という一言に尽きます。

普段はビジネスマンで騒々しいオフィス街とは一転してひっそりと佇む静寂な丸の内に朝7時30分(早い)に集合し、重いまぶたを擦りながらいざ出発。道中は歌を唄ったり山手線ゲームをして楽しむ平均年齢20代後半の若者たちは、この時ばかりは永遠の10代のようにはしゃいでいました。はしゃぎ疲れたところで宿舎に到着。昼食を取り、着替えを済ませてグラウンドに出発。チーム決めでは、各グループの首脳陣が集まりさながらG4のごとく会議が始まりチーム決定。優勝特典はなんと「夕食時に女の子を独占できる」です。賛否両論はあろうが見事な特典です。ゴールをすする度に敵味方関係なく賛辞を送り歓声を挙げ、上手いかわなくて苛立ちを露にし(結構真剣にやってみました)、そんなこんなで1日目のフットサルは終焉を迎えました。

宿舎に帰るといくつもあるお風呂の中から好きなお風呂を選択し裸の付き合いをした後はバーベキューです。大勢で食べると何でもお

いしいですね。優勝特典の「女の子を独占できる」は、予想通り?結局なァなァになってしまいました。サッパリしてお腹も一杯になったところで飲み会のスタートです。飲み会では定番の恋バナ(生々しい)や経済情勢について話したりと楽しく、そして有意義な時間となったようでした。数名は深夜にコンビニに駆け出したり、2人きりで花火をしたりと各々に青春を思い出していました。

2日目は7時30分に朝食です(全員起きるはずがない)。ご飯・味噌汁・焼き魚やサラダとお決まりの朝食でしたが普通においしかったです。朝食を食べた後に少し休憩をしてグラウンドに出発しました。再度G4によるチーム編成を経た後、フットサルの再開です。思ったとおり体が重い。ここで10代ではないことを痛感させられます。宿舎に戻り昼食(もちろん合宿には付き物のカレー)を食べた後は、もう帰るだけです。帰りの道中はまだまだ元気な現役生(20代前半)とまったり話す社会人(30代)とに見事に別れました。若さの差ですかね。。。

以上のような感じで第1回会計研サッカー部合宿を無事に終わることができました。来年は今回よりも良いものに今の1年生が主体となって企画・運営してくれると信じています。未筆ながら、企画・運営して下さった田代さん・満行さん・小池さんや参加して下さった皆さんありがとうございました。

